

いつも一緒 富山のペットたち

小鳥は、犬や猫に比べると体が小さく新陳代謝が盛んです。病気になるたときは病状の進行が速いので、注意が必要です。重要なチェックポイントを紹介します。



まずは体や羽根など、外見についてです。鳥は痩せているのか肥満なのか、見た目で判断するのが難しいため、週1回の体重測定をお勧めします。病気になる場合は、体重測定の間を決めて毎日量ります。

羽根の色からは健康状態がわかります。羽毛の青色がなくなり、白色や黄色に変わったときは、色がうまく作れなくなっている可能性があります。肝不全や栄養不良、感染などでストレスがあると、羽毛がかすれたようになるストレスラインが現れます。

羽根が曲がったり血の斑が現れたりした場合は、PBF D(オウム類くちばし・羽病)、BFD(セキセイインコのひな病)が疑われます。鳥は体温が下がると、低下を防ぐため、羽毛を逆立てて熱が逃げないようにする「膨羽」行動をとります。このようなときは保温が必要です。

西岡 満

西岡動物病院長
(高岡市出来田)

小鳥の健康チェック



小鳥の体重の変化は、見た目でわかりにくい。毎週1回、体重を測ろう。

羽根や便の状態に注意

くちばしの変形

雌には、下腹部が大きく膨れる病気が多く現れます。産卵中は卵塞(卵詰まり)が起こることがあります。雌のセキセイインコは腹部ヘルニアが発生しやすく、腫瘍のように大きく膨らんで排便障害などが見られます。

くちばしの変形したり、長くなり過ぎたりしたときも注意しましょう。これらは肝不全や栄養不良、疥癬症などが原因です。形があまりにもひどい場合は、トリミングをしてください。脚、足、爪の関節の腫れは、関節に乳白色の尿酸が蓄積する痛風かもしれません。足底部に

たこのようなものができる「腫瘤症」と呼ばれる病気もあります。止まり木が合っていないと、爪が伸び過ぎて引き起こすことがあります。

便の周りの液体の部分が尿です。普段から、ふんの数、大きさ、色などに注意してください。

セキセイインコは、性ホルモンの影響を受けて色彩が変化します。発情が続くと、鼻のロウ膜が大きく盛り上がり、また、尾の付け根にある尾腺は、腫瘍がでやすいといわれています。肛門がふん便や尿で汚れていないか、多尿や下痢、軟便、排便困難がないかも観察しましょう。

多尿は糖尿病、腎不全、肝不全などが疑われますが、羽毛の抜け替わり、産卵、発情時にも起こります。尿酸が黄、緑、赤色になっているときは、肝不全

「いつも一緒 富山のペットたち」は、毎月第1木曜日に掲載します。



セキセイインコのおん。小鳥のおんは健康のパロメーターになる

2013(平成25)年9月5日
北日本新聞